

放送大学 教材検索システム の一般公開

放送大学では、一般の方々が放送大学の教科書テキストを、より一層活用できるように、現行のほとんどのテキスト（349科目）に関して語句検索できるシステムを制作し、インターネットを通じて一般に公開いたします。辞書や索引として、語句・人名・参考文献の検索に利用したり、科目横断的な検索を行って、比較研究に役立てたりできます。



この検索システムは、

<http://ou-j.net/search/>

で公開されています。

(初めて検索なさる方は、上記ホームページの「初めてご利用になる方は、こちらから ≫」の表示にしたがって、まず「ユーザーID」「パスワード」を自分で登録してから、ログインして使用してください。)

放送大学「教材検索システム」一般公開のお知らせ

日頃から、放送大学の教育に対して、多大なご協力を賜りましてありがとうございます。

このたび、放送大学では、一般の人々や学生が放送大学の教科書テキストを、より一層活用できるように、現行のほとんどのテキスト（349科目）に関して語句検索できるシステムを制作し、インターネットを通じて一般に公開いたしました。テキストの各ページから単語のみを取り出しデータベースとし、この単語に対して検索することで掲載ページを知ることができるシステムで、放送大学現代GPプロジェクトが制作したものです。

インターネットに接続することができる人であれば、自分のPCから、このシステムを利用可能です。以下のような利用が考えられます。

(1)「辞書」としての利用：大学教育で使われている語句を検索し、テキストの掲載ページを知って、専門用語を確かめることができます。

(2)「索引」としての利用：大学科目の同一テキストの他の箇所、どのようにその言葉が使われているのかがわかります。

(3)「分野横断的な検索システム」としての利用：複数の大学科目や異なる研究分野間で、その言葉がどのように使われているのか、比較して教育・研究に使うことができます。人名や参考文献の探索にも有効です。

著作権保護のために、本文をデータベースに含めておりませんので、できればこの検索を利用するときには、全テキストの揃っている各大学・公共図書館あるいは放送大学の各学習センターで、検索を行うことをお勧めいたします。検索を行いながら、放送大学テキストを高度に活用することができます。このような方法によって、一般の人々や学生が学術的な関心のための生涯学習を行ったり、復習・予習の補助として使用したり、大学・業務用レポート作成の補助としたりすることが期待されます。

教育・学習用に供すると同時に、公開を旨とする放送大学の社会貢献に資することにも努めたいと考えております。この検索システムは、<http://ou-j.net/search/> で公開されています。(初めて検索なさる方は、上記ホームページの「初めてご利用になる方は、こちらから」の表示にしたがって、まず「ユーザーID」「パスワード」を自分で登録してから、ログインして使用してください。)

◇公開期間：2008年7月から

◇公開対象者：放送大学講義科目に関心のある一般の方々及び放送大学の学生、教員など

◇公開科目：放送大学学部・大学院科目 349科目（2007年度末現在）

（2008年度新規科目については、2008年度後半に組みこむ予定）

◇検索環境：インターネットブラウザが動作可能な状態。

◇検索方法：<http://ou-j.net/search/> にて公開されています。

詳しくはHP掲載の「ユーザーマニュアル（使い方ガイド）」参照。

◇教材の閲覧：放送大学学生以外の方の学習センターでの教材閲覧については、試験期間中の対応などで、学習センターによって異なりますので、かならず各学習センターへ電話連絡を取ってから、教材をご利用ください。

◇問合せ：放送大学現代GPプロジェクト

E-mail:gendaigp@u-air.ac.jp

Tel:043(298)4374（火～金：10：00～15：00）

以上